

呼吸器内科

○ 呼吸器内科の概要

1. 呼吸器内科の特色

肺がんなど胸部悪性疾患の内科診療を行っている。

2. 診療実績

常時、約 30 名の肺がん入院患者と約 100 名の外来患者の診療にあたった。年間の新患数は 621 名であった。

3. 診療・教育スタッフ

各務 博 (教授)
小林 国彦 (教授)
村山 芳武 (准教授)

ほか、助教 4 名

4. 研修責任者と臨床研修指導医、上級医 (指導者)

研修責任者：各務 博 (診療部長)
臨床研修指導医：各務 博、小林 国彦、村山 芳武、山口 央、毛利 篤人
上級医 (指導者)：塩野 文子、内田 貴裕

5. 臨床研修プログラムの特色

研修医は講師以上の指導医を中心とした診療チームに属し、その指導のもと入院患者の診療を担当する。診療チームの一員として、検査、治療方針を計画し、実行する。回診、カンファレンスにおいて、受け持った患者のプレゼンテーションを行う。肺癌の病初期の積極的治療から緩和治療までを担当する。

6. 経験目標・到達目標

到達目標と評価表 (1ヶ月間研修した場合)

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 呼吸器疾患の病歴および理学所見をとることができる。	()	()
2. 胸部 X 線写真を読影できる。	()	()
3. 胸部 CT を読影できる。	()	()
4. 臨床肺機能検査の評価が正しくできる。	()	()
5. 肺癌の診断 (存在診断、組織診断、病期診断) ができる。	()	()

到達目標と評価表 (2ヶ月目以上研修した場合)

【評価 A：可 B：不可】	自己評価	指導医評価
1. 呼吸器疾患の病歴および理学所見をとることができる。	()	()
2. 胸部 X 線写真を読影できる。	()	()
3. 胸部 CT を読影できる。	()	()
4. 臨床肺機能検査の評価が正しくできる。	()	()
5. 肺癌の診断 (存在診断、組織診断、病期診断) ができる。	()	()
6. 肺癌の治療方針を計画、実行できる。	()	()
7. 呼吸器感染症の抗菌薬選択ができる。	()	()
8. 緩和ケアを計画、実行できる。	()	()

7. 週間スケジュール

曜日	午前	午後	夜
月	午前外来1回を担当（初診患者1名と再診を行う）	気管支鏡	
火		PM1-3 カンファレンス、 PM3-4 総回診、 PM4-5 抄読会	
水		気管支鏡	
木		気管支鏡	
金		気管支鏡	
土	朝 8:30 日高五科カンファ インフォームド・コンセント外来（患 者・家族に1時間をかけて 説明や相談を行う）	インフォームド・コンセント外来	

8. 研修に関する問い合わせ先

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1
 埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター
 呼吸器内科 村山 芳武（准教授）
 E-mail : ymurall4@saitama-med.ac.jp